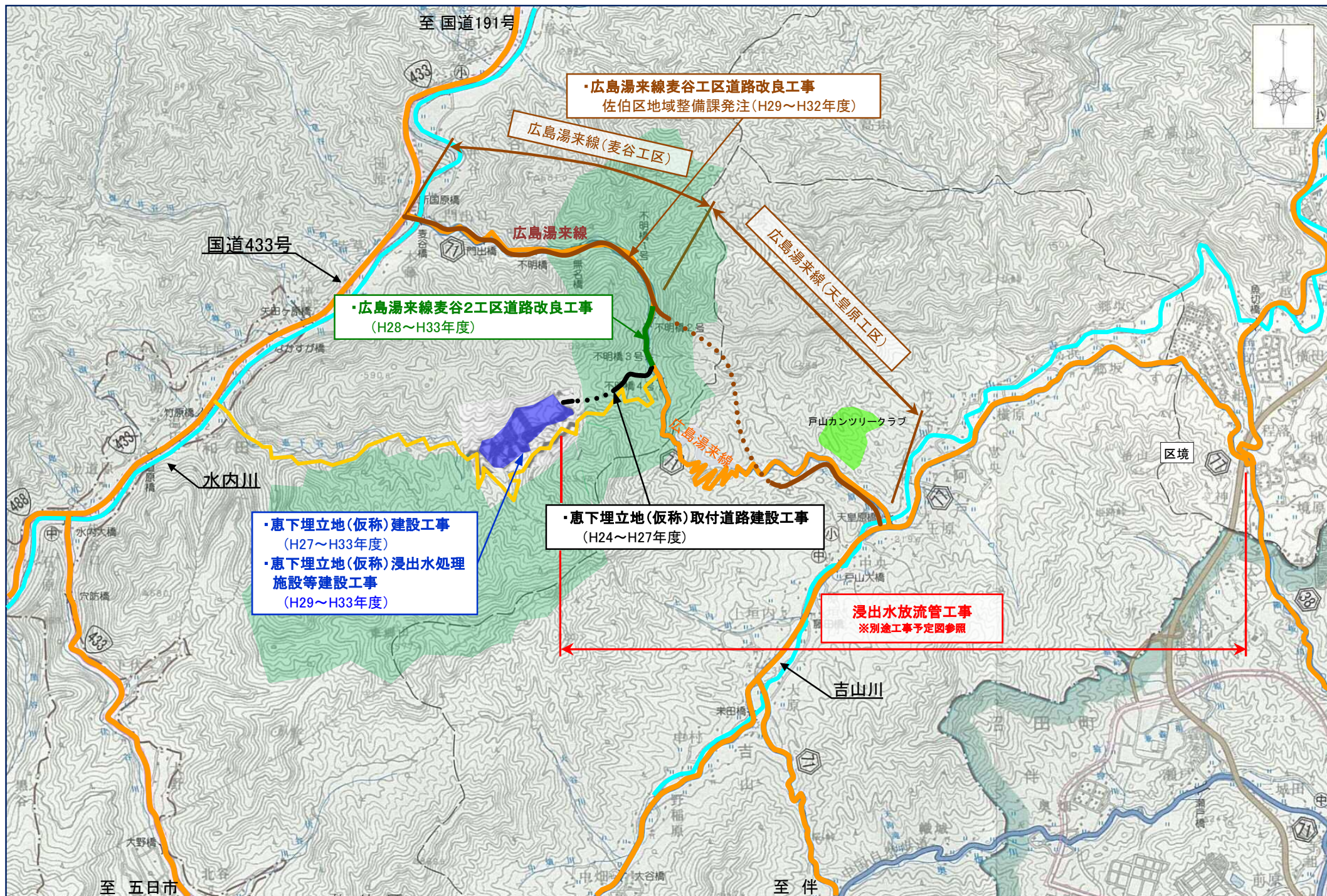


恵下埋立地整備事業位置図

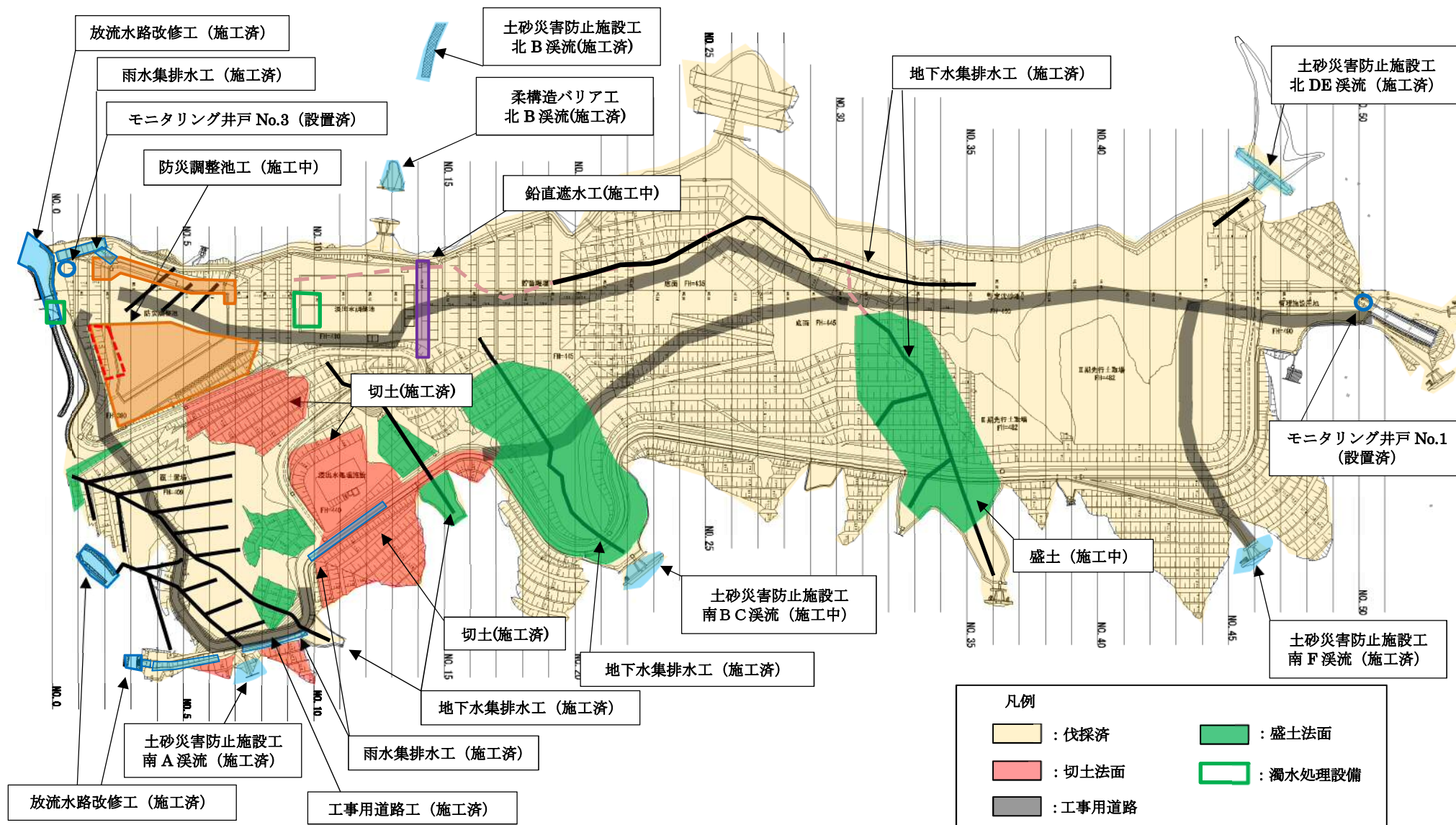
【資料1】



作業状況

工事着手から現在まで以下の作業を実施しています。（平成 28 年 5 月～平成 31 年 2 月）

作業内容：準備工（工事用道路工）、仮設工（仮設沈砂池、濁水処理設備）、切盛土工、法面工、地下水集排水工、雨水集排水工、放流水路改修工、防災調整池工、土砂災害防止施設工、モニタリング井戸工、鉛直遮水工、柔構造バリア工



作業状況（平成28年5月～平成31年2月）

【資料2-2】

防災調整池工



①Hブロック



②Qブロック(型枠組立)



③放流水路

④法面工



植生基材吹付

⑤鉛直遮水工



モルタル注入(カーテングラウト)

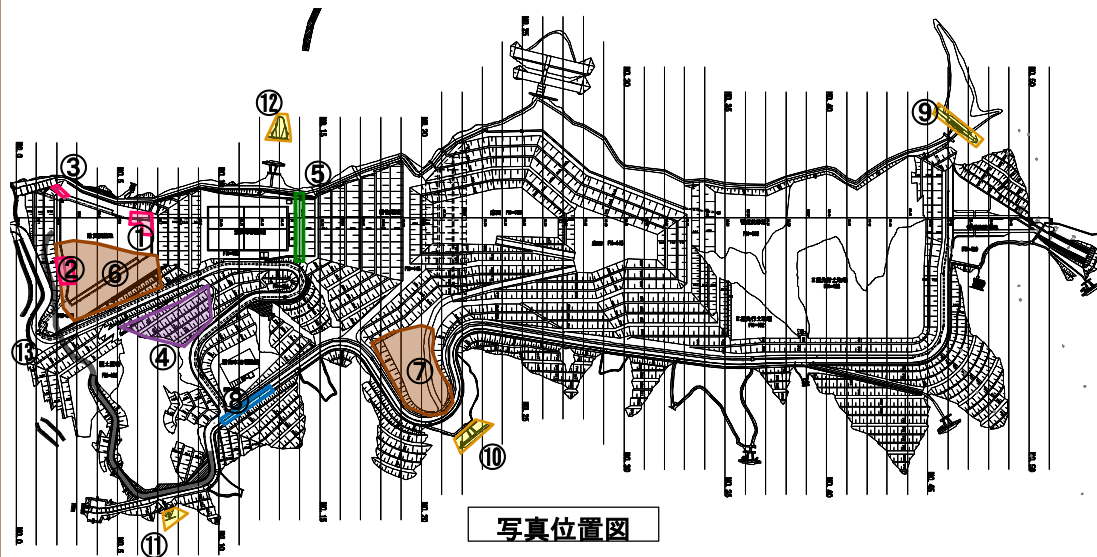
造成工



⑥防災調整池 掘削



⑦盛土



準備工



⑬工事用道路工

⑧ 雨水集排水工



南側バイパス水路

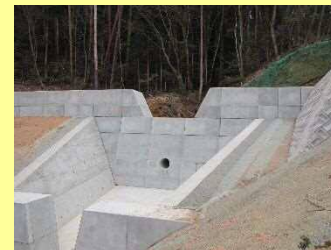
土砂災害防止施設



⑨北DE溪流



⑩南BC溪流



⑪南A溪流



⑫柔構造バリア

7月豪雨による恵下埋立地（仮称）建設工事の工事途中での主な被害状況について

【資料2-3】

環境局 恵下埋立地建設事務

被害状況①



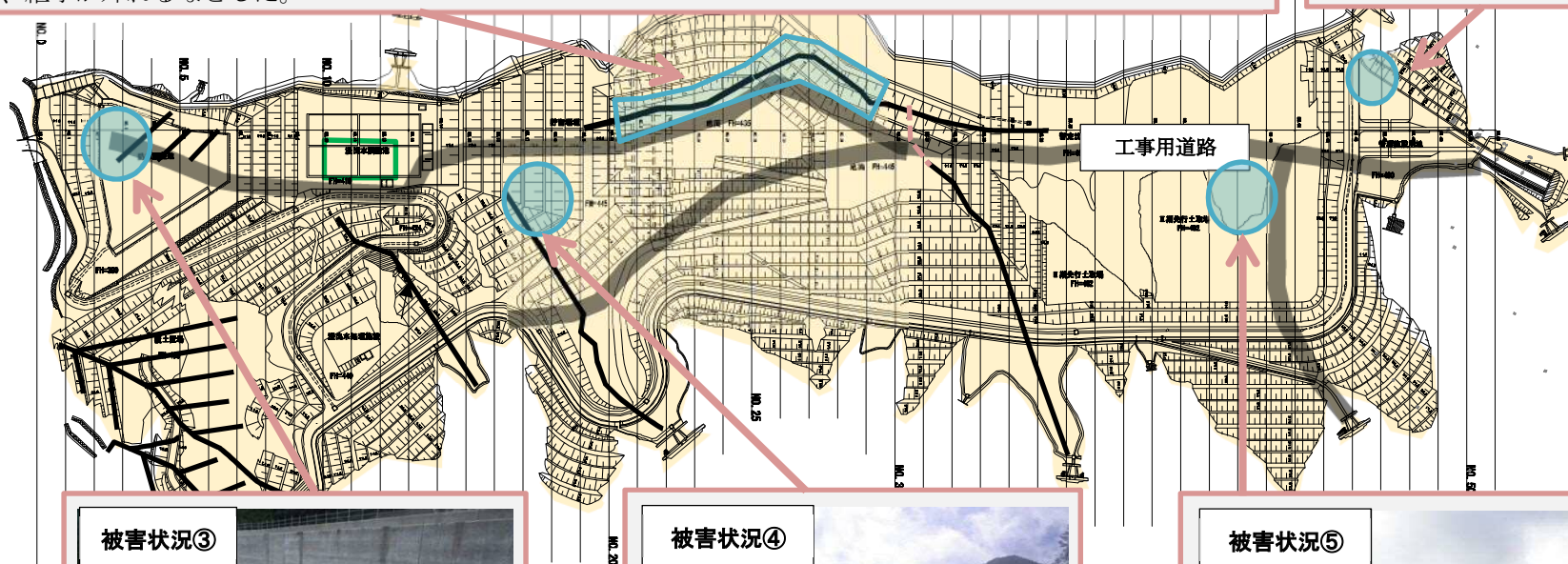
完成形では、盛土等により地下へ埋設される集排水管が、工事途中での豪雨により管周りの砕石が洗掘され管が露出し、継手が外れるなどした。



被害状況②



自然法面の表層が一部崩れた。

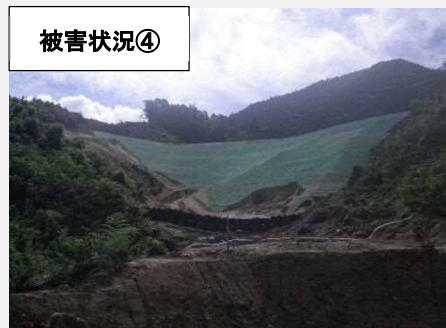


被害状況③



施工中の防災調整池へ土砂が流入し掘削面の土砂が洗われた。

被害状況④



浸食防止材を吹付けた仮盛土法面について、法尻付近の一部が崩れた。

被害状況⑤



駐車場用広場の一部が流水により崩れた。

恵下埋立地（仮称）建設工事の豪雨への防災対策の概要について

【資料2-4】

環境局 恵下埋立地建設事務

対策工①

管材の浮き上がりを防ぐため、管の周りを砕石からセメント改良土に変更した。

対策工②

法面下に大型土のうを設置し土砂流出を防止する。

対策工③

降雨時の排水ルート確保と土砂流出を抑制する。

対策工④

仮法面に浸食防止剤を散布し法面の浸食を防止する。（当初より実施）



対策工⑤

最下流の河川内にコンクリー堰堤を設置し下流への土砂流出を防止する。

対策工⑥

大規模な沈砂池と濁水処理施設を設置し濁水の流出を抑制する。（当初より実施）

対策工⑦

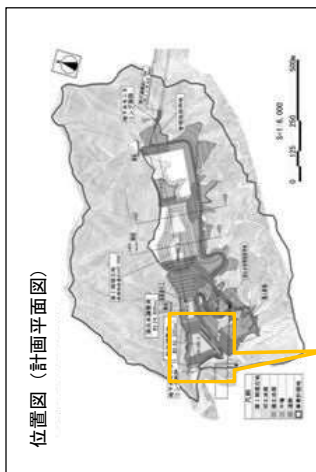
工事区域内に仮設沈砂池を複数箇所増設し土砂や濁水の流出を抑制する。

恵下埋立地（仮称）建設現場における燃え殻の撤去作業の完了について

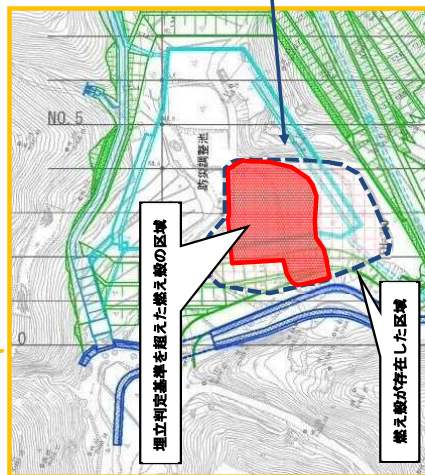
環境局施設部恵下埋立地建設事務所

平成28年8月に建設現場から発見されたダイオキシン類を含む燃え殻について、平成29年10月から撤去作業を開始していましたが、平成30年8月4日をもってすべての燃え殻を撤去し、場外への搬出作業が完了しました。

位置図（計画平面図）



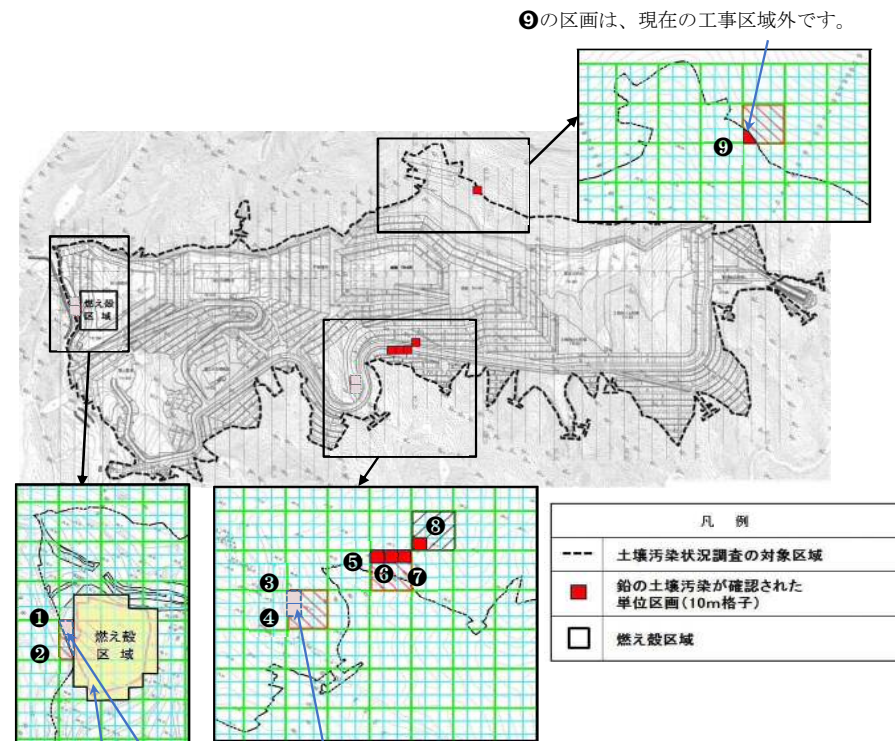
【燃え殻撤去後の状況】



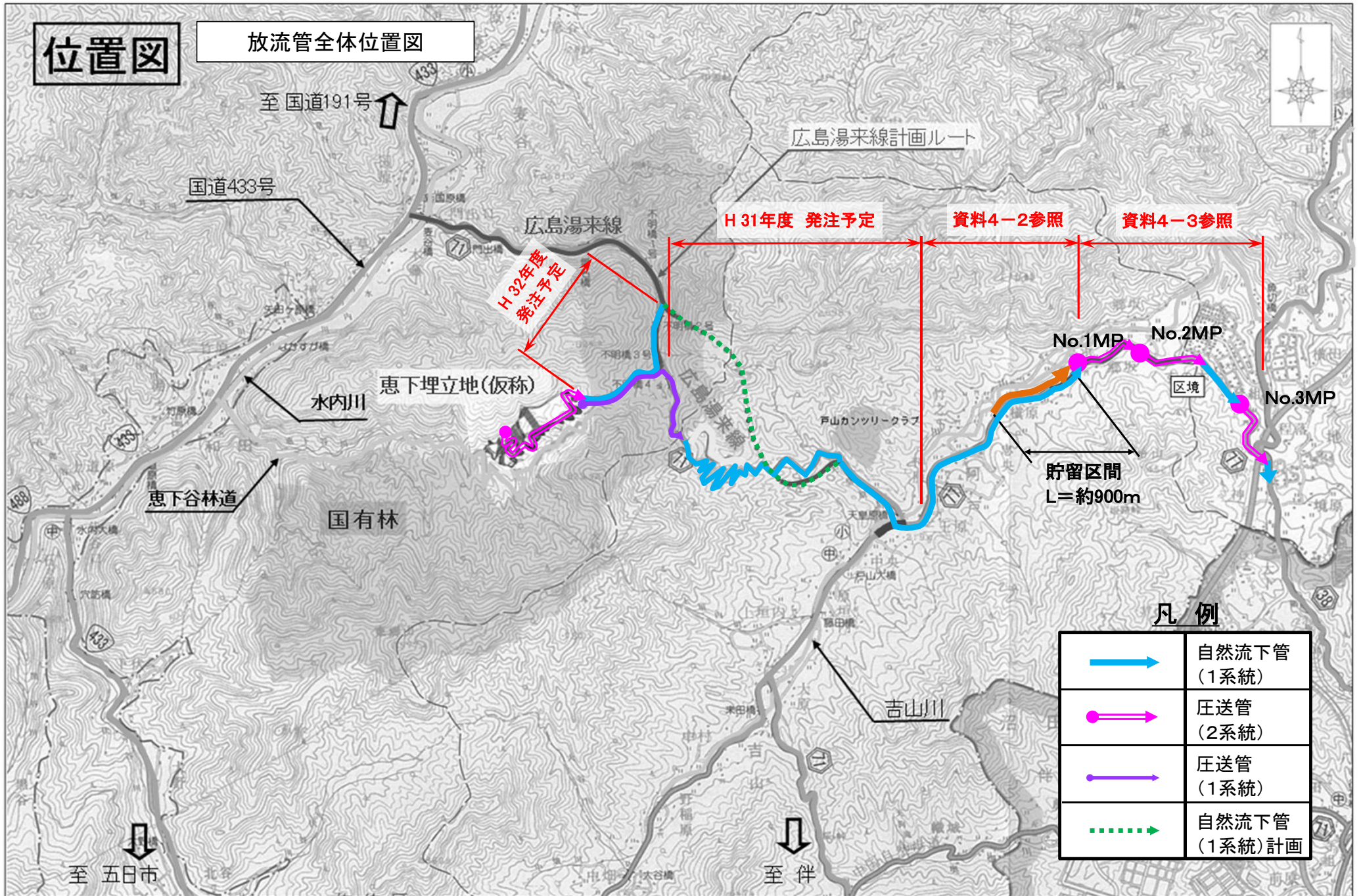
恵下埋立地（仮称）建設現場における汚染土壌への対応状況について

平成31年3月
環境局 施設部 恵下埋立地建設事務所

<調査位置図（調査位置及び汚染の確認場所）>



凡 例	
---	土壌汚染状況調査の対象区域
■	鉛の土壌汚染が確認された単位区画(10m格子)
□	燃え殻区域



浸出水放流管工事箇所（中王、阿戸）

(H 31. 2月時点)

【資料4-2】

凡	例
	放流管(自然流下部)
	放流管(圧送部)
	放流管(貯留部)
	マンホールポンプ
	マンホール
	マンホール(予定)
	マンホール(点検整備用)
	マンホール(空気弁)
	観測井戸(予定)

